

野鳥撮影の速射性を向上させるデジカメ追加部品

野鳥撮影時の撮影ヒット率、速射性を上げる事を目標にした部品の製作、取付案内です。会員の皆様も野鳥撮影する時に肉眼、双眼鏡で野鳥を見つけてからカメラのファインダーへ姿を導入するまでに時間がかかり、撮影チャンスを逃す事がお有りだと思います。

野鳥発見から撮影までの時間を最小限に短縮するための追加部品です。

1. 照準用ドットサイト(ほとんどのカメラに取付可能)
2. 野鳥確認用の望遠鏡(カメラ上部にアクセサリースューが有れば取付可能)
3. 焦点距離を伸ばすフロントテレコンバーター(フィルター用ネジが有れば取付可能)

1-1. 照準用ドットサイトについて

ドットサイトとは

本体の照準用ガラス面へLEDで明るく発光した十字線、円、などを投影して目標物を照準しやすくする(日中に青空へ向けても照準線(赤色、緑、切替)が確認できる)。

ライフル銃の照準器へ搭載、望遠鏡の視野導入用としても一般的に使用されている。

今回使用した物はamazonで約1800円で販売されている中国製の安価な物です。オリンパスから同目的での高価な市販品(市場価格11000円)も有ります。

使用目的、効果

望遠レンズで野鳥を撮影する時にカメラのファインダーへ野鳥の姿を導入するまでに1回で捕らえられず、何度も肉眼で場所を確認してカメラを向け、時間ロスで撮影チャンスを逃す事が良く有るので、ドットサイト使用で1回で素早くカメラのファインダーへ導入出来る。

特に野鳥の姿が捉えにくい林の中、飛翔中の野鳥など、正確にドットサイトとカメラの中心を重なるように調整した場合は、ファインダーを覗かなくてもドットサイトの中心に姿を捉えたら、即シャッターを切ることも可能、速射性、撮影のヒット率が格段に増える。

使用方法

右目でカメラのファインダーを覗く場合は、カメラの左側の目の高さで、左目の中心位置へ取付位置を調整(各部品はホームセンターで購入し少し加工しボルト、両面テープ取付)。

左目でドットサイトの十字線を目標の野鳥に合わせる様にカメラを構えると、カメラのファインダー内へ野鳥の姿が捉えられていて、すぐにシャッターが切れる。

飛翔中の野鳥はカメラのファインダーを覗かずに、ドットサイトの十字線を目的の野鳥に合わせ、肉眼で追いかけてながらシャッターを切り続ける事が出来る(野鳥の姿を見失わない)

慣れれば左目でドットサイトを覗き、同時に右目でカメラのファインダーを覗く、両眼視が使えるようになり、さらにヒット率が上がります(飛翔中の野鳥が大きいのと数をこなしたので、実際に両眼視を六ヶ岳のハチクマ渡り観察の時に使えました)。

1-2. 照準用ドットサイト取付部品製作

*、図面上の寸法で、FZ1000以外は実際に取付チェックを行っていませんので修正が必要な場合が有ります、全て自己責任でお願いします。

ドットサイト本体をデジカメへ取付ける為の部品の製作図面、寸法表、取付組立図を機種別に作成しました。

今回図面を書いた機種は野鳥撮影に使われてるとされるCanon (7Dm2 , 80D , 8000D, SX60HS) Nikon (D7500 , P900) Panasonic (FZ1000 , FZH1) Sony (RX10m4) の9機種になります。他の機種でも現物、または外形画像が有れば図面は作成できます。

各機種の組立図、取付板製作図、取付板寸法表、ボルト類画像、底板材料画像、を参考にすれば一般の方でも製作、取付は可能と思います。

ドットサイトの位置調整は上側の差込板で前後方向を調整、底板の向き、取付ボルトの平座金の枚数で高さ調整して下さい。

ドットサイトをONにし、カメラの最望遠位置でファインダーの中心に重なる様にドットサイトの上下、左右、位置を付属の六角レンチを使用して調整して下さい。

2-1. 野鳥確認用の望遠鏡について

望遠鏡について

使用している望遠鏡は単眼鏡(双眼鏡の片側と同じ)でオリンパス製のMonocular 6×16 防水単眼鏡でamazonで8000円位で市販されています。

ニコン製を含め手持ちの8種類の単眼鏡のテスト結果一番明るく見易い。
(20m位の位置で1度ピントを合わせたら以後はピントを合わせなくても使用出来る)

使用目的、効果

双眼鏡で野鳥を発見しカメラに持ち替えて撮影するまで数秒必要で、その間に野鳥が逃げて撮影チャンスを逃がすことが良く有ります。

双眼鏡で野鳥を発見してカメラを構えて撮影するまでの時間短縮が目的です。

カメラのファインダーを覗くより広範囲が明るく見えます。
(300mm～400mm望遠レンズ位の倍率で見えます)

使用方法

カメラ上部のホットシュー(アクセサリシュー)へ望遠鏡を取り付けることによりカメラを構えたままで望遠鏡を覗いて野鳥を発見でき、すぐに撮影出来ます。

望遠鏡をカメラへ取り付けるホットシューアダプターはamazonで数百円で販売、望遠鏡へはホームセンターで販売しているエポキシパテ(数百円)で接着硬化。

正確にカメラと望遠鏡の中心を合わせて取り付けると望遠鏡を覗いたまま撮影することも可能ですが、その場合は自在調整マウントのはソニー カメラシューマウント VCT-CSM1 C SYH 約2000円が必要。

3-1. 焦点距離を伸ばすフロントテレコンバーター

フロントテレコンバーターについて

元のレンズの前側に取り付けて焦点距離をF値を変えなずに簡単に伸ばす望遠レンズ。望遠レンズの倍率は一般的に1.4倍～2倍位が多い。
nikon製でEDレンズ使用の非常に高性能なものも有る(1.7倍、製造中止、定価6万円)。その他の各社の中古品なら2000円位から入手可能です。

使用目的、効果、使用方法

一眼レフ以外(一眼レフ用望遠レンズでも取り付け可能)のレンズ一体式デジカメのフィルター取り付けネジを利用して前側へ取付。

取付はアダプターリング(ステップアップ、ダウンリング)でカメラ側のフィルター取り付けねじへ固定する。

取り付けるテレコンバーターによって広角側で視野が狭くなる事が有る。

機種別専用品以外はレンズ前側が重くなりズーム動作に注意が必要。

カメラ側レンズと相性があり物によってはピントが甘い物も有るのでテスト必要。

- *. 照準用ドットサイト、野鳥確認用の望遠鏡、フロントテレコンバーターは複数持っていますので会員の方にはテスト用で貸し出し可能です。
- *. 会員の方で取付希望者が複数の場合は部品代実費で取付指導は可能です。

野鳥確認用望遠鏡

野鳥撮影用デジタル部品取付図1

左目の中心に来るように取付

ビットサイト本体

ビットサイト固定板

取付ボルト、ナット

取付金具

L字金具、ストリート板
(鉄製)

取付ホットシュー

三脚取付ネジで固定

本体と両面テーパで張付け



野鳥撮影用デジカメラ部品取付図②

野鳥確認用望遠鏡

フロントテレコンバーター

ドットサイト本体



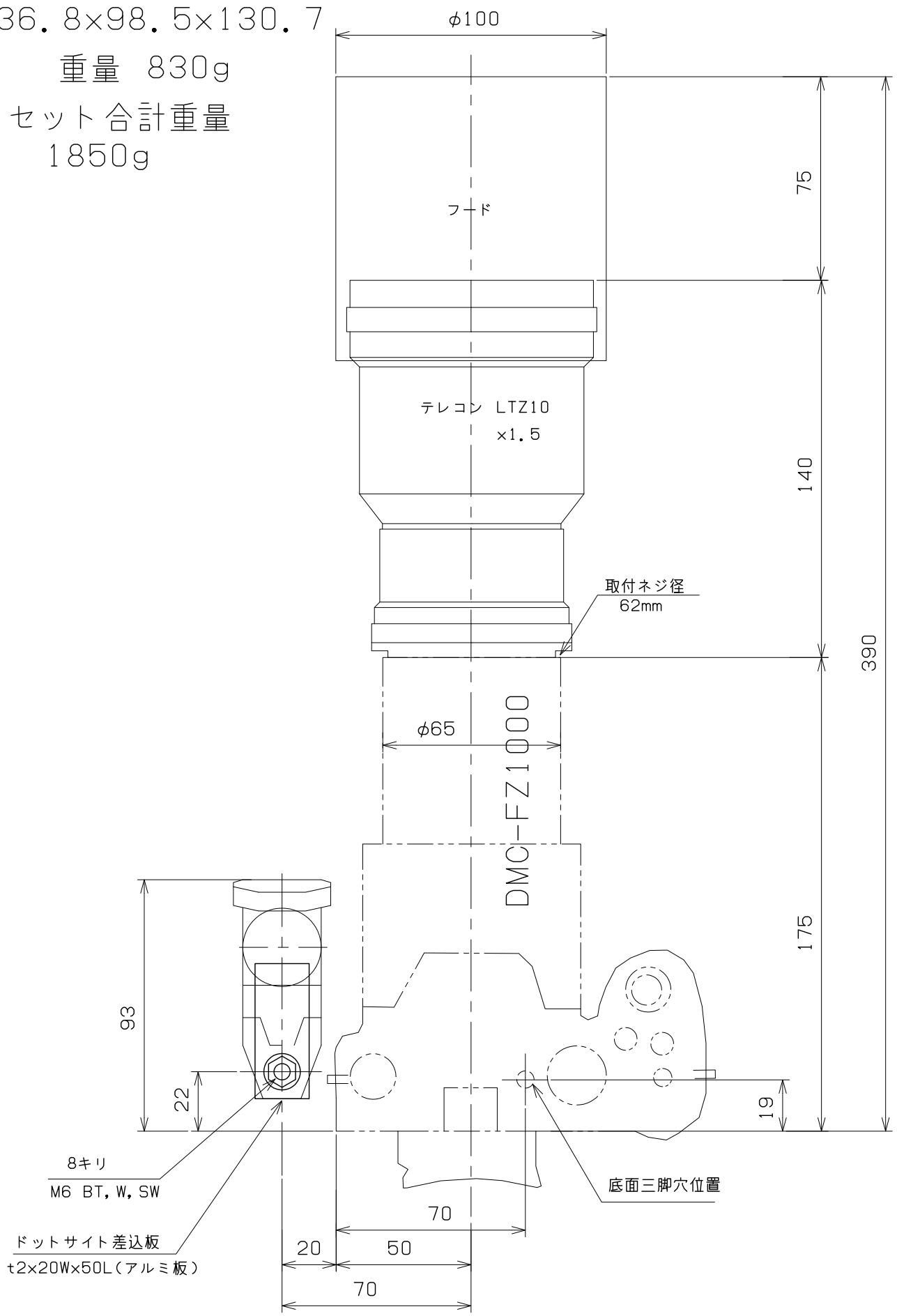
Panasonic DMC-FZ1000

136.8×98.5×130.7

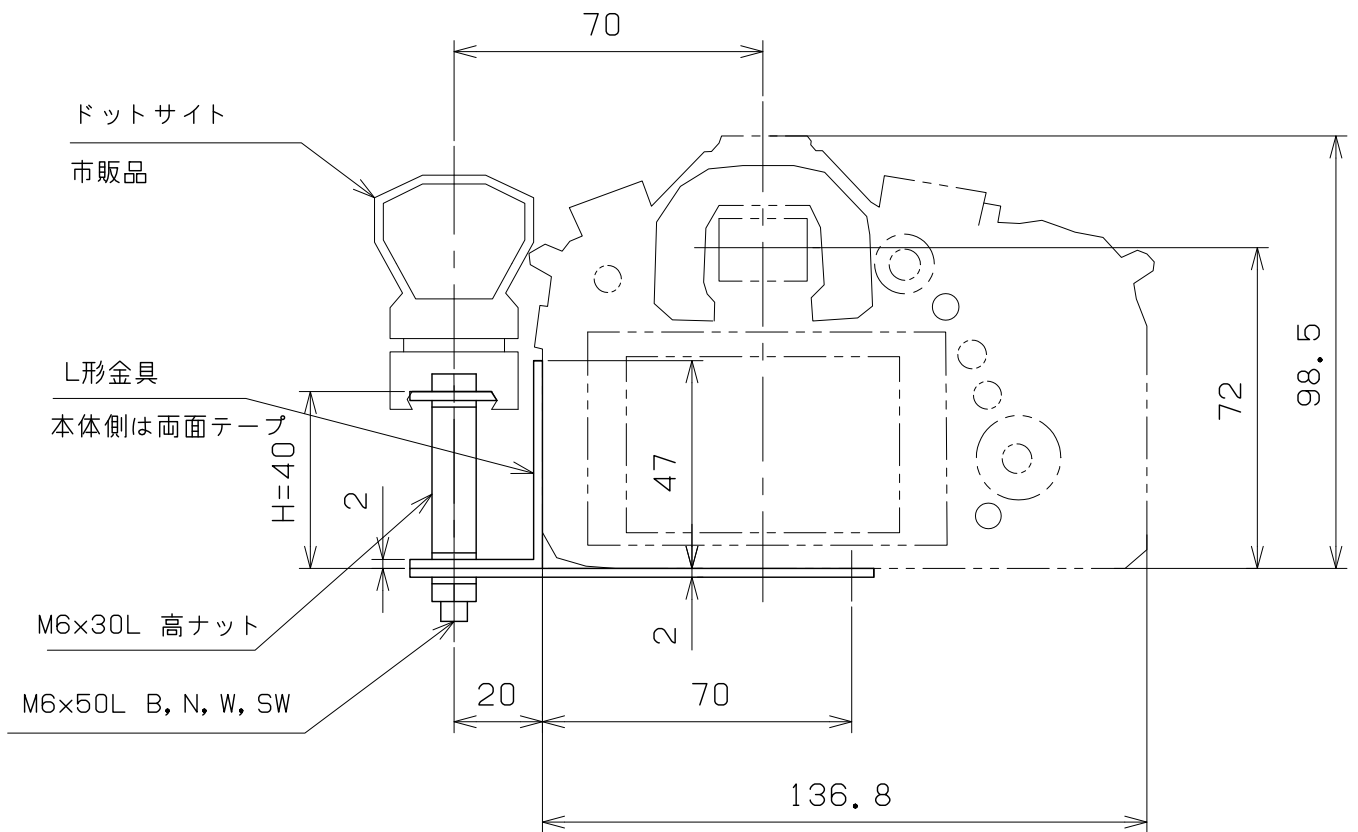
重量 830g

セット合計重量

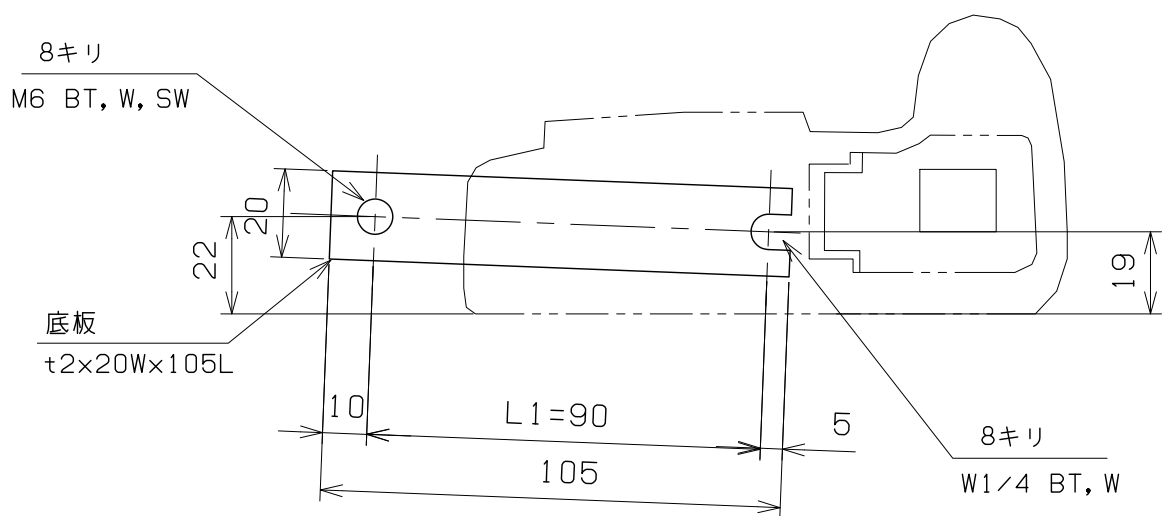
1850g



DMC-FZ1000 上面



DMC-FZ1000 背面



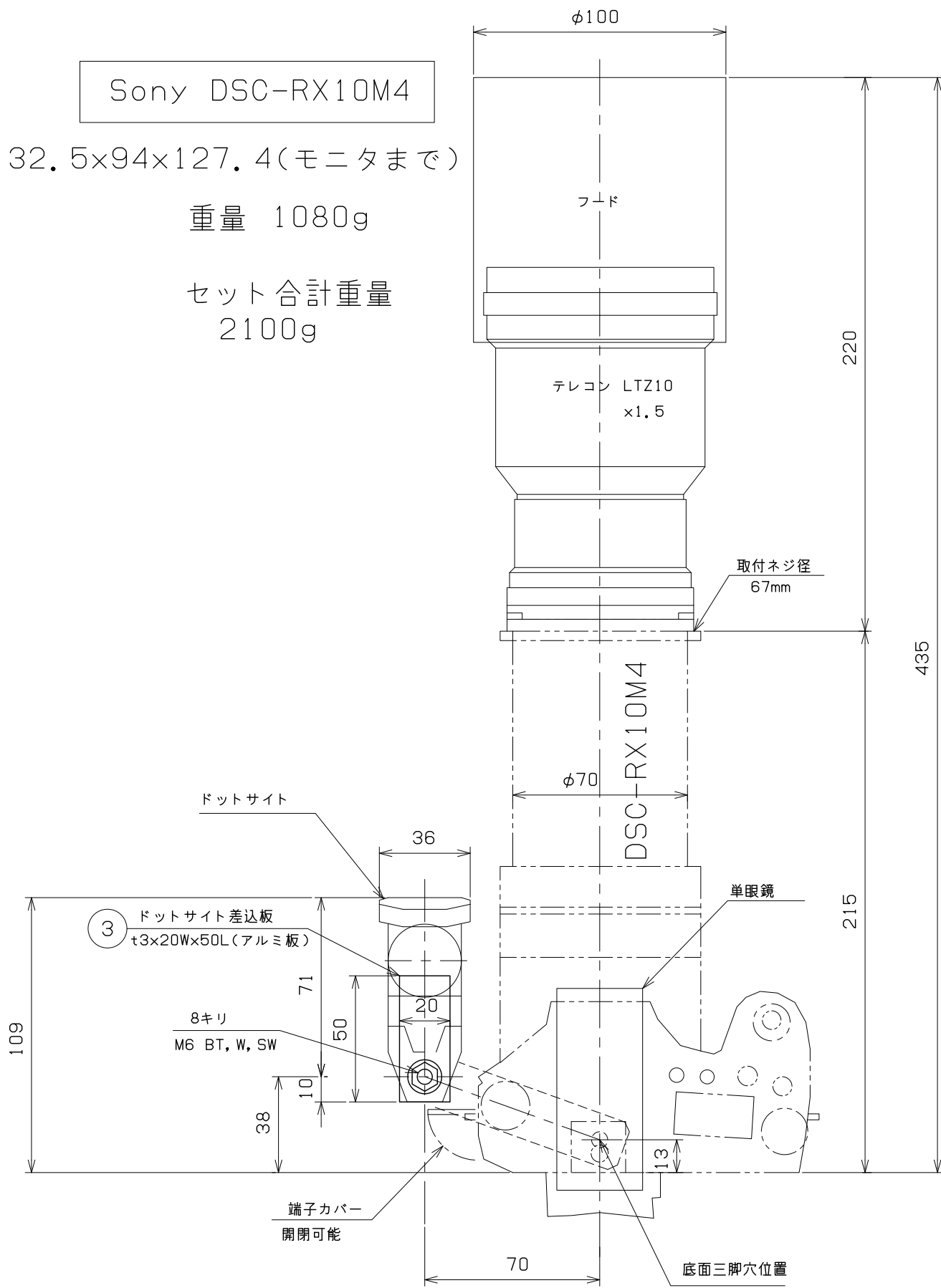
DMC-FZ1000 底面

Sony DSC-RX10M4

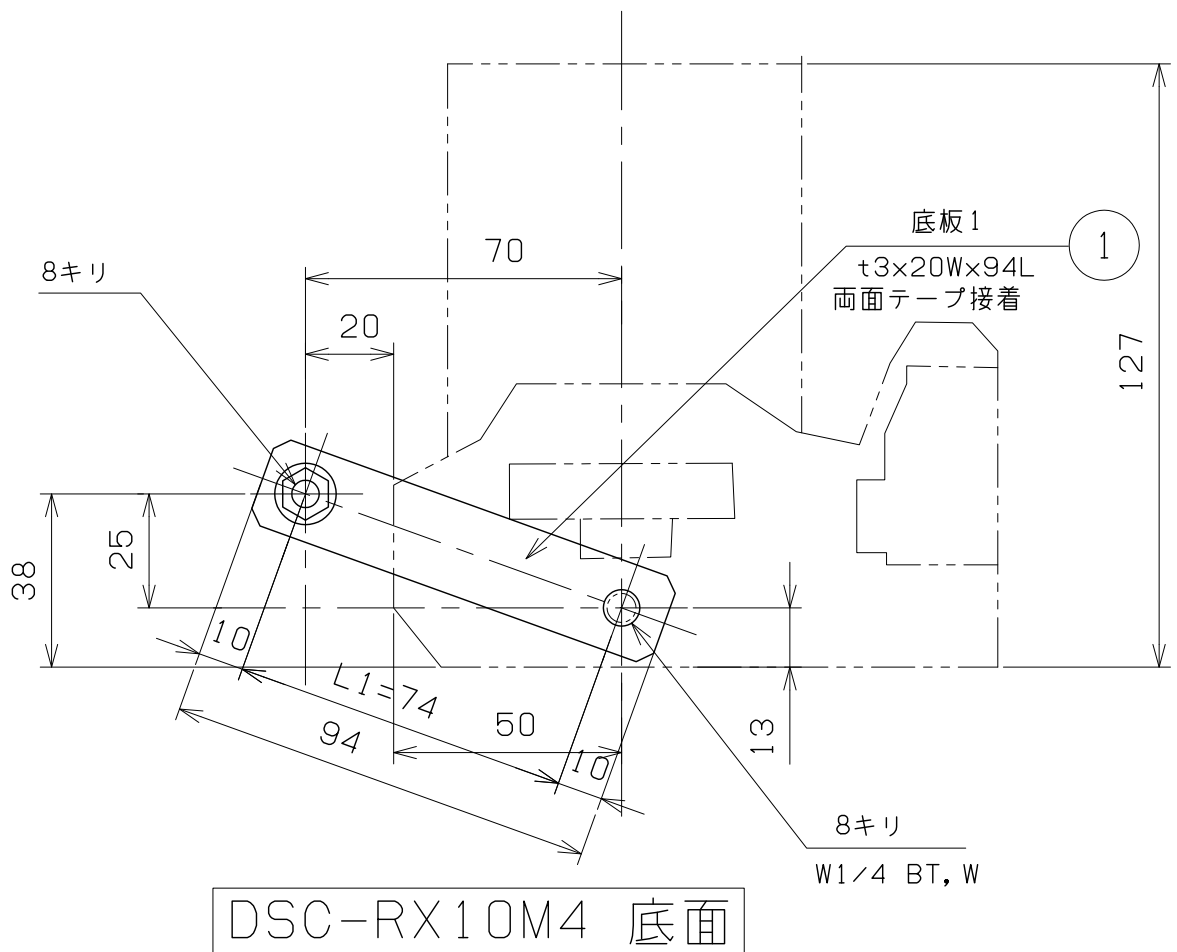
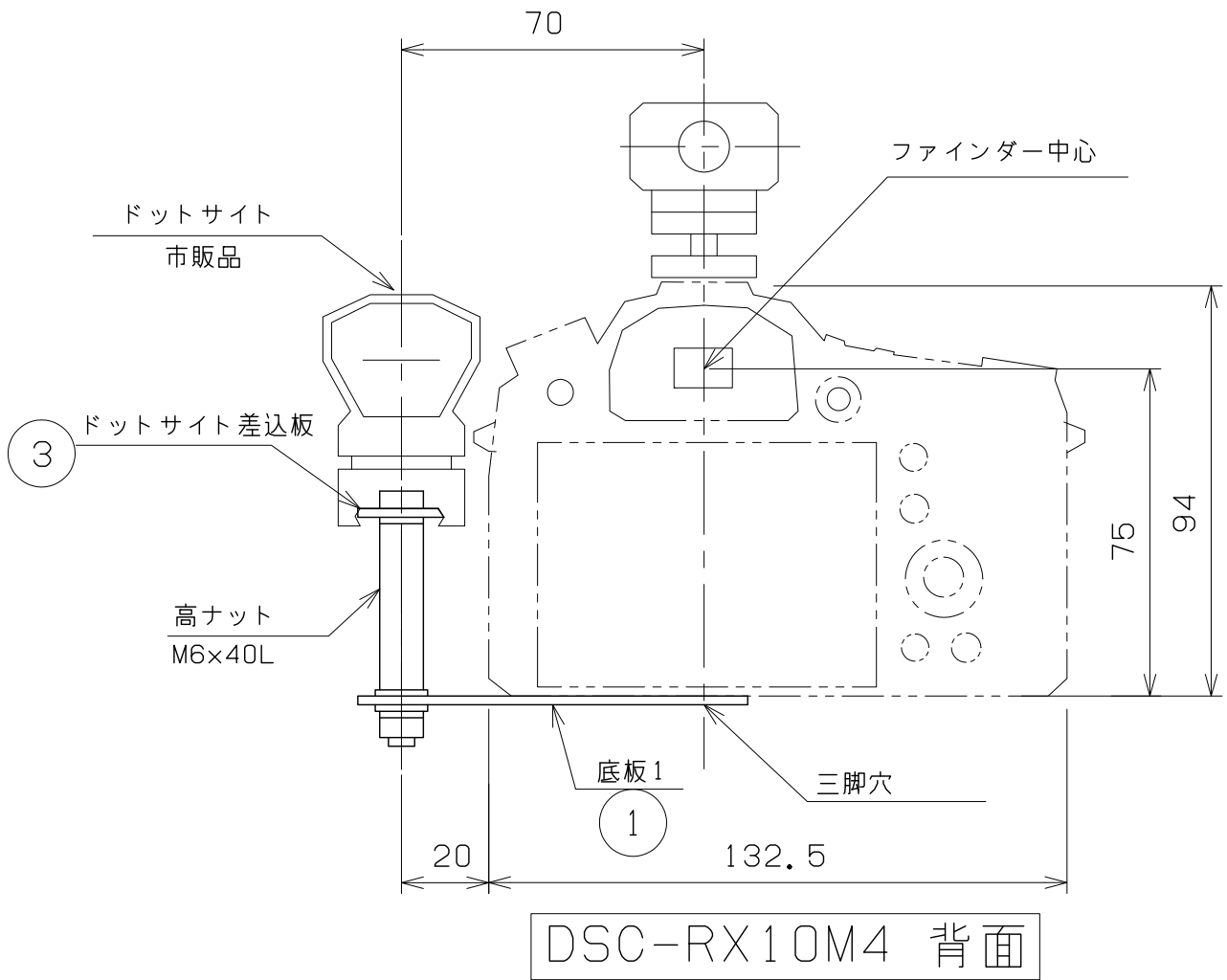
132.5×94×127.4(モニタまで)

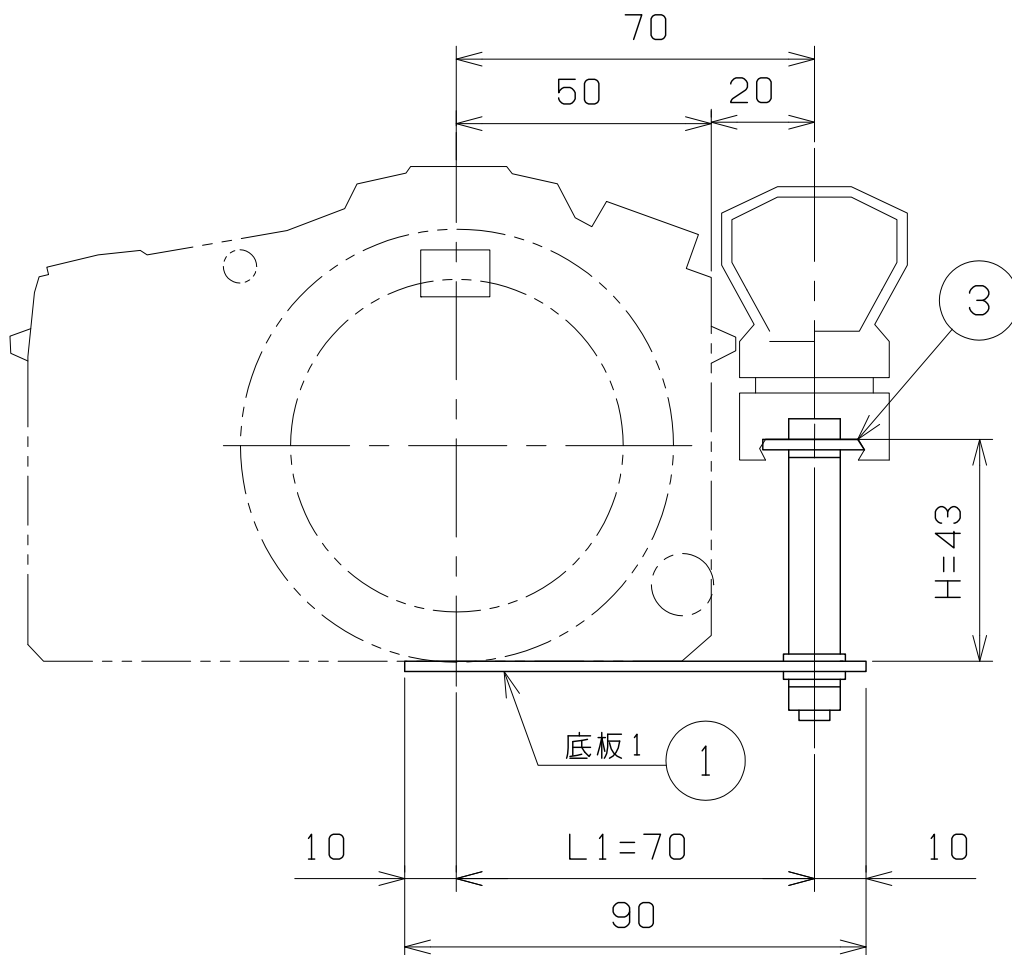
重量 1080g

セット合計重量
2100g

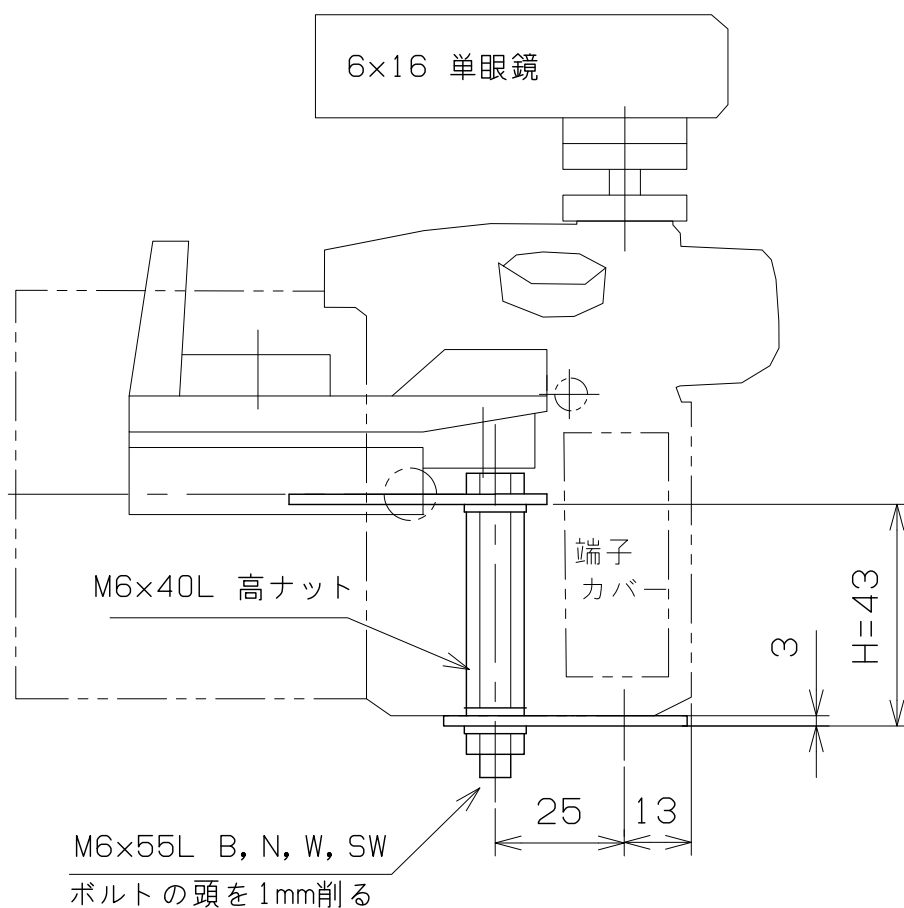


DSC-RX10M4 上面





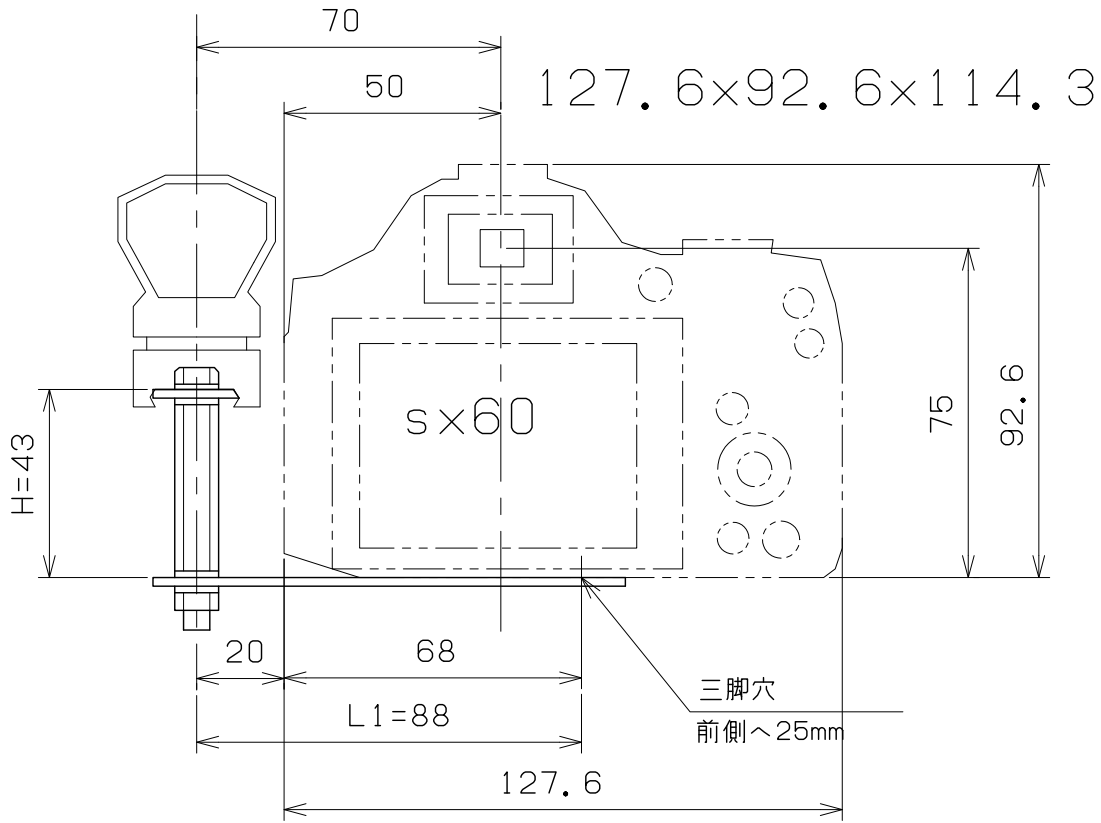
DSC-RX10M4 正面



DSC-RX10M4 側面

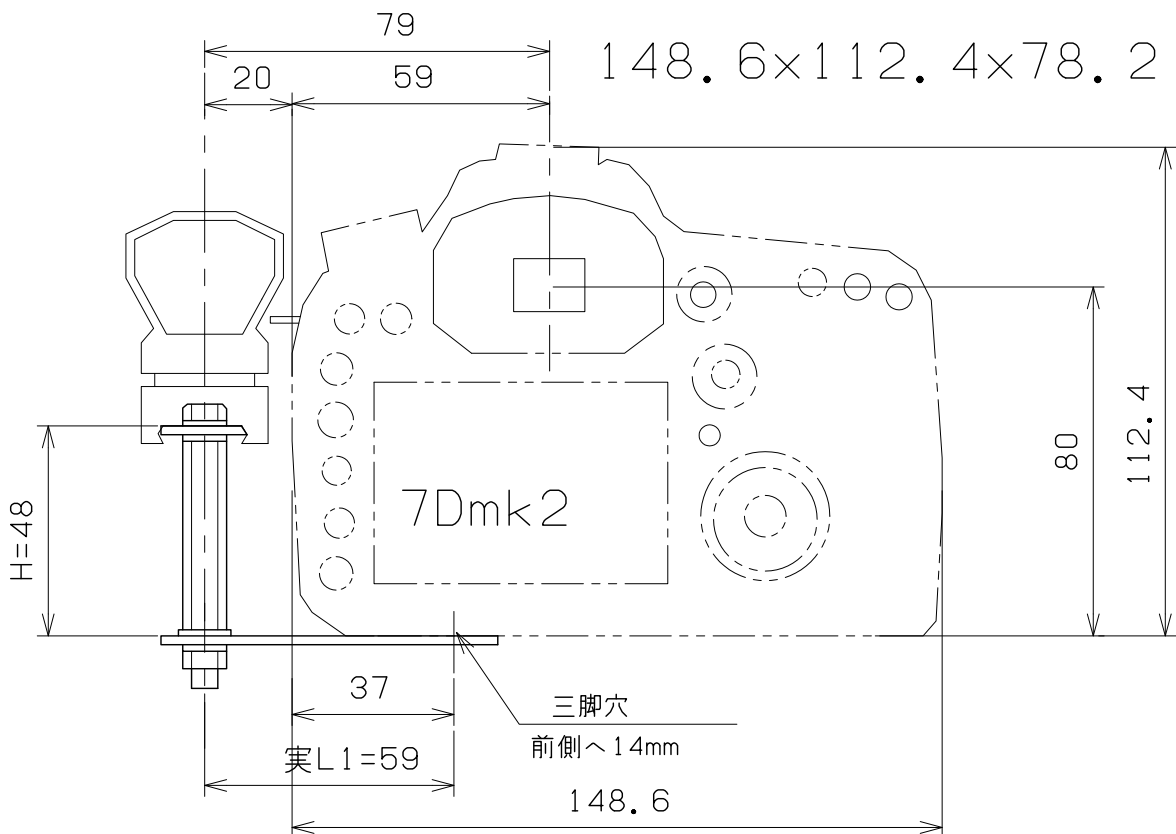
CANON SX60 HS

重量 650g



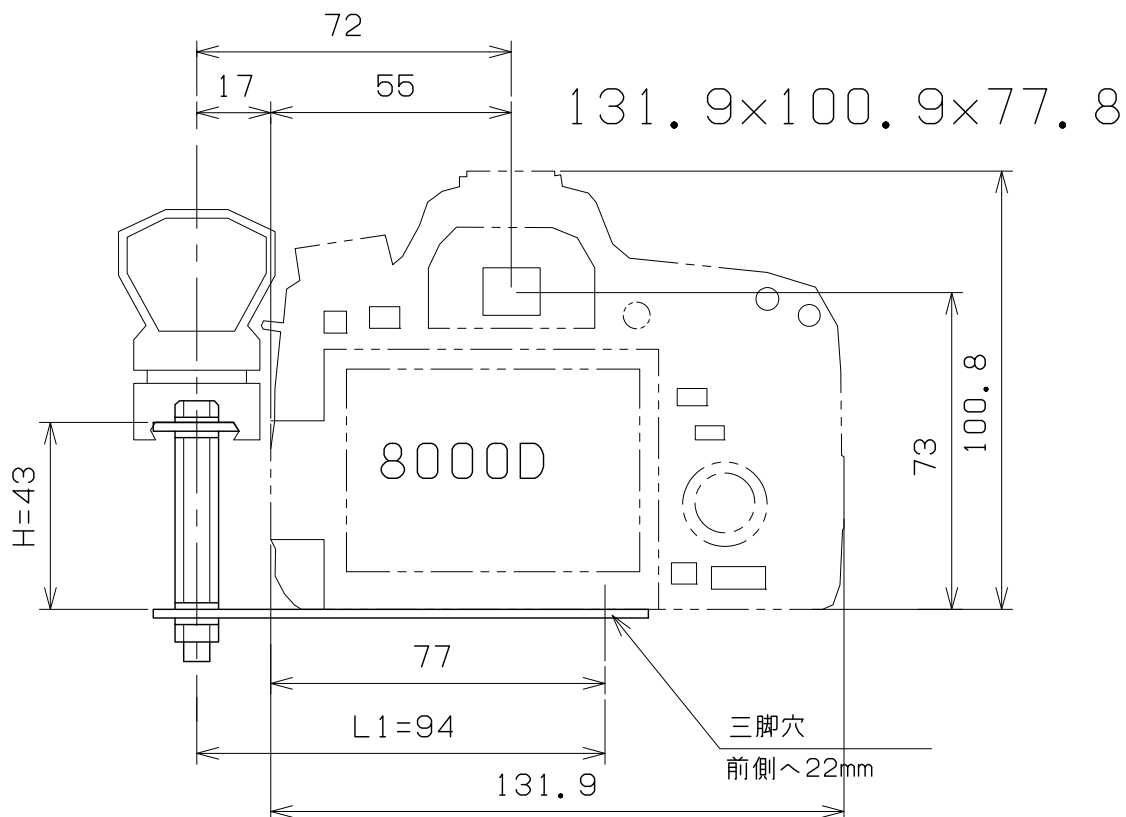
CANON 7Dmk2

重量 730g



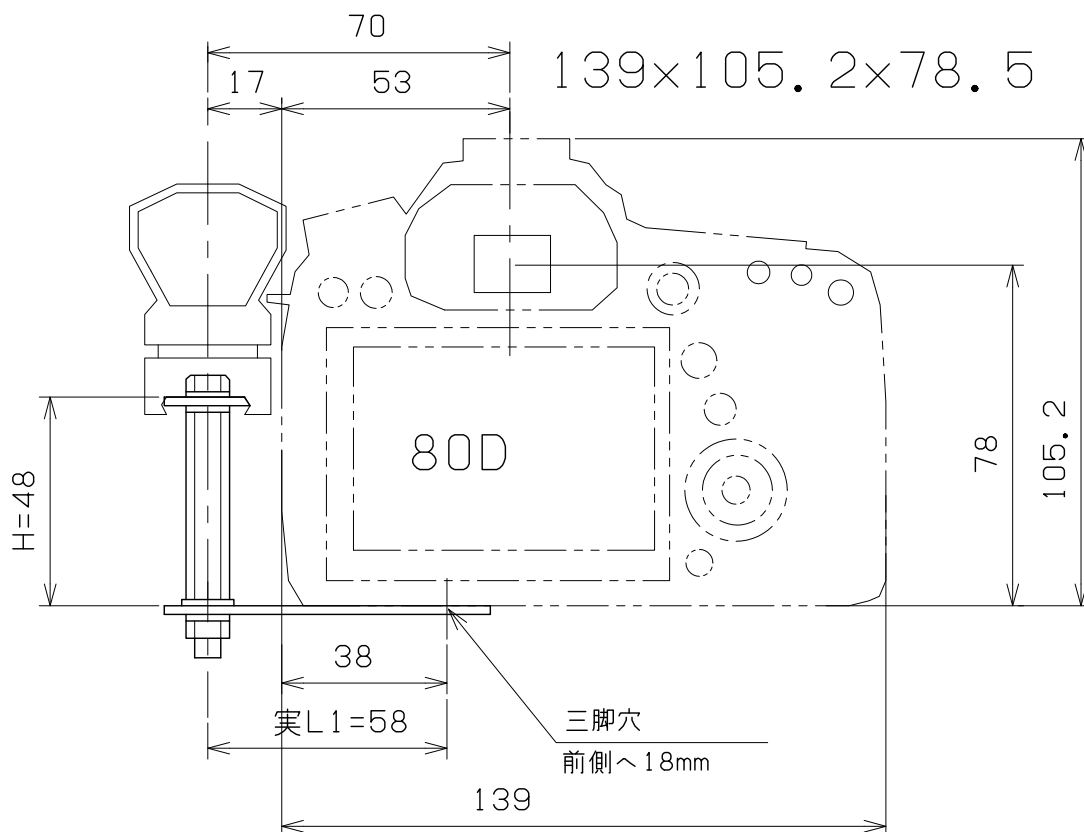
CANON EOS 8000D

重量 600g



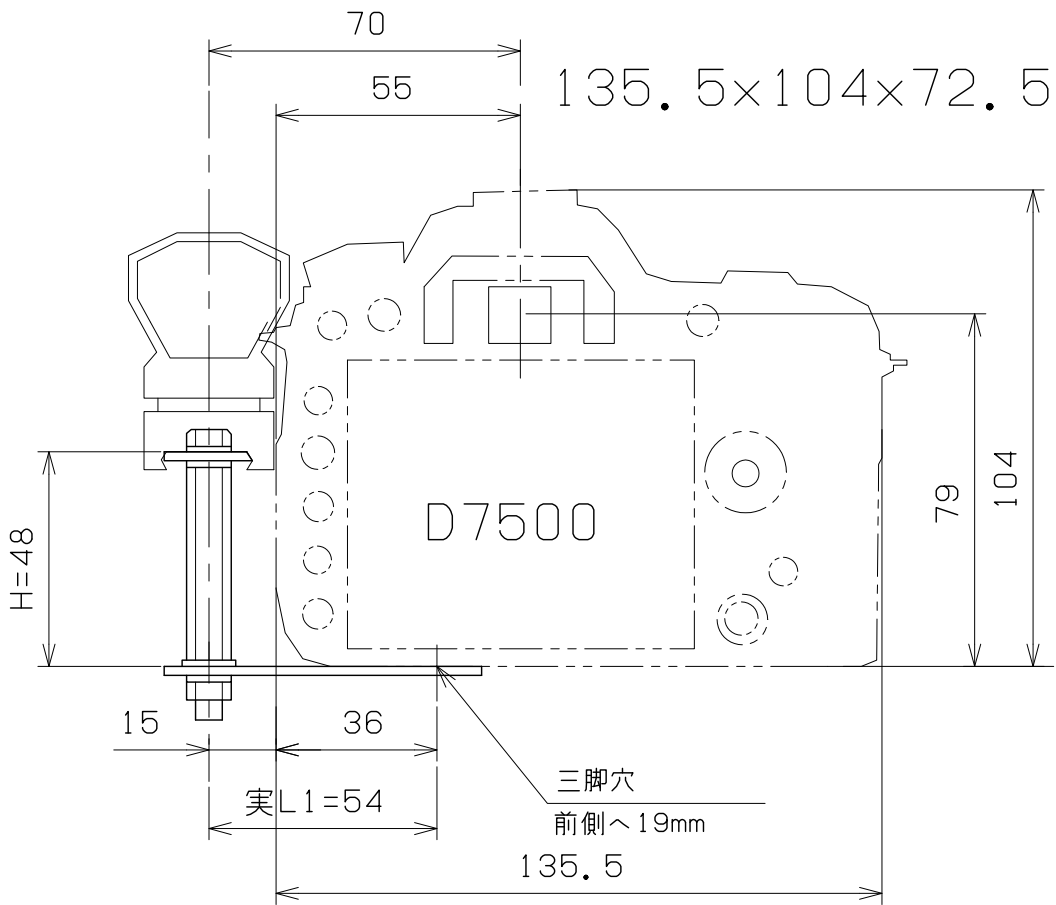
CANON EOS 80D

重量 730g



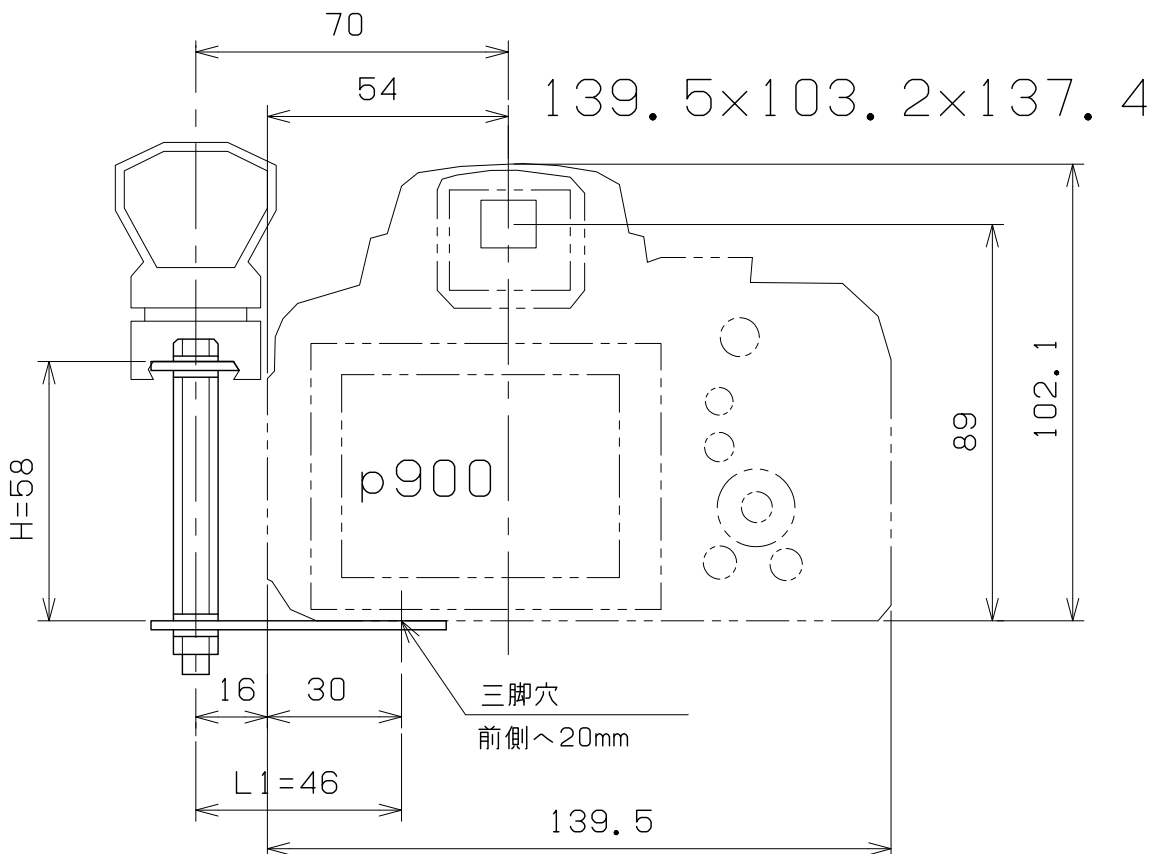
NIKON D7500

重量 640g



NIKON P900

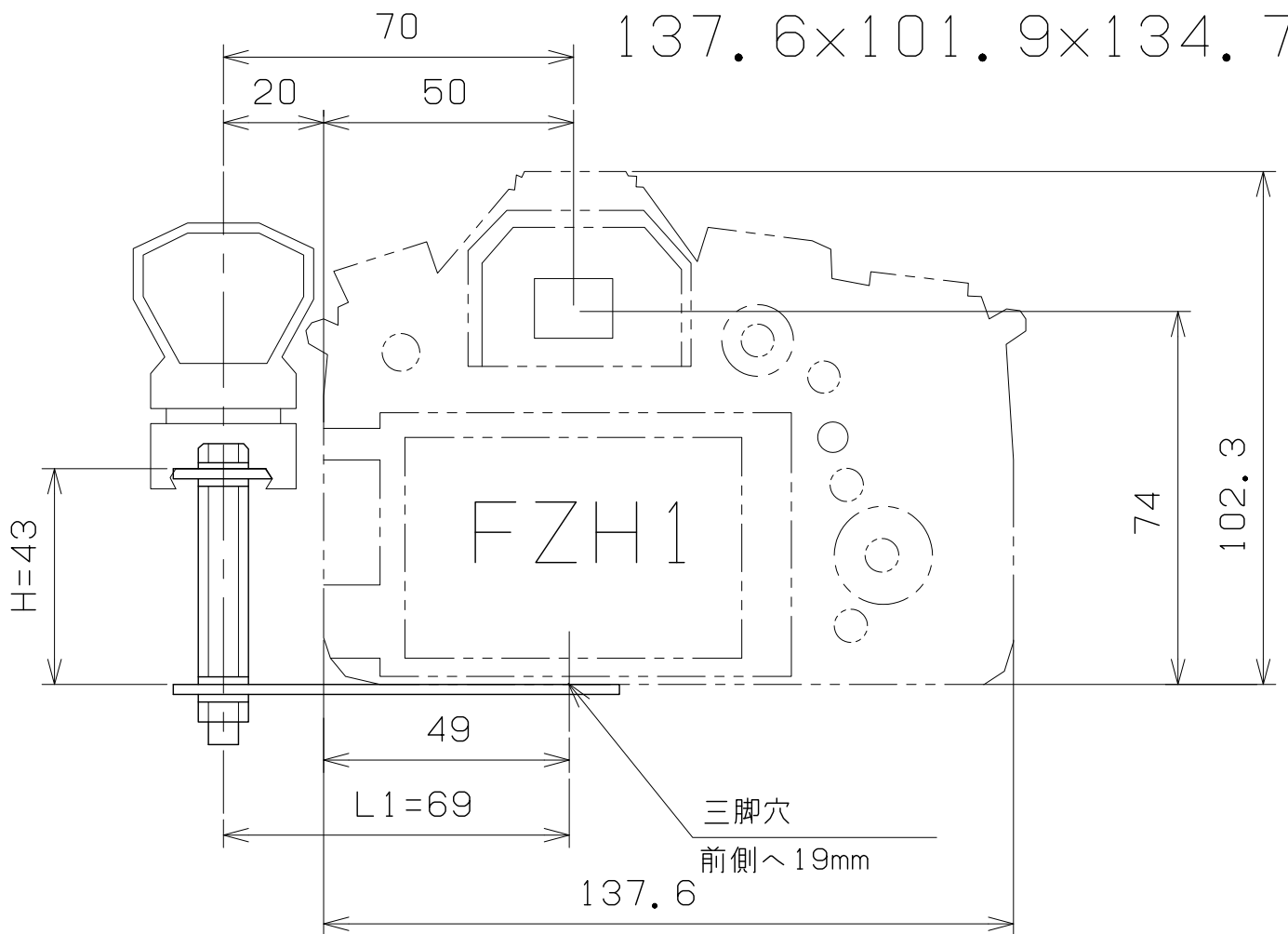
重量 900g

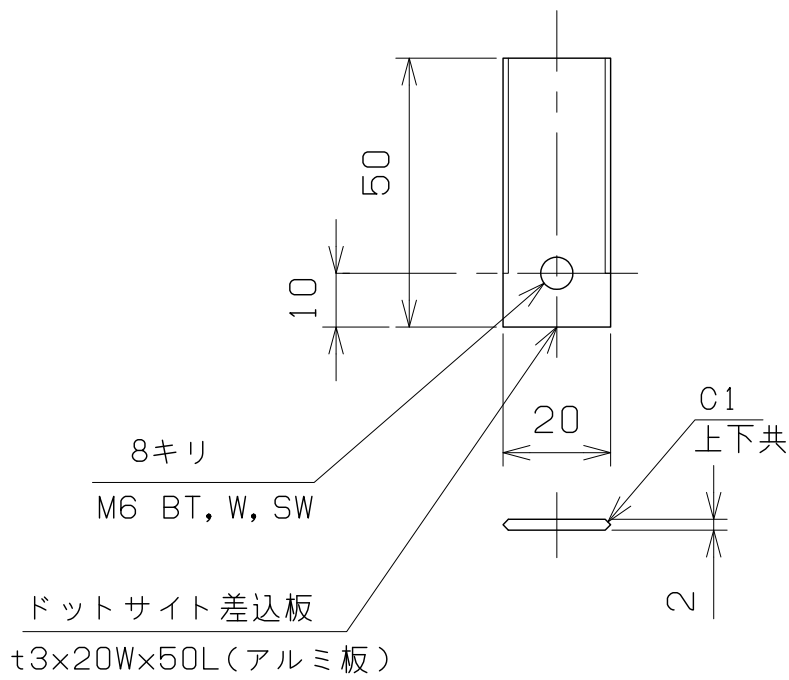


Panasonic DMC-FZH1

重量 970g

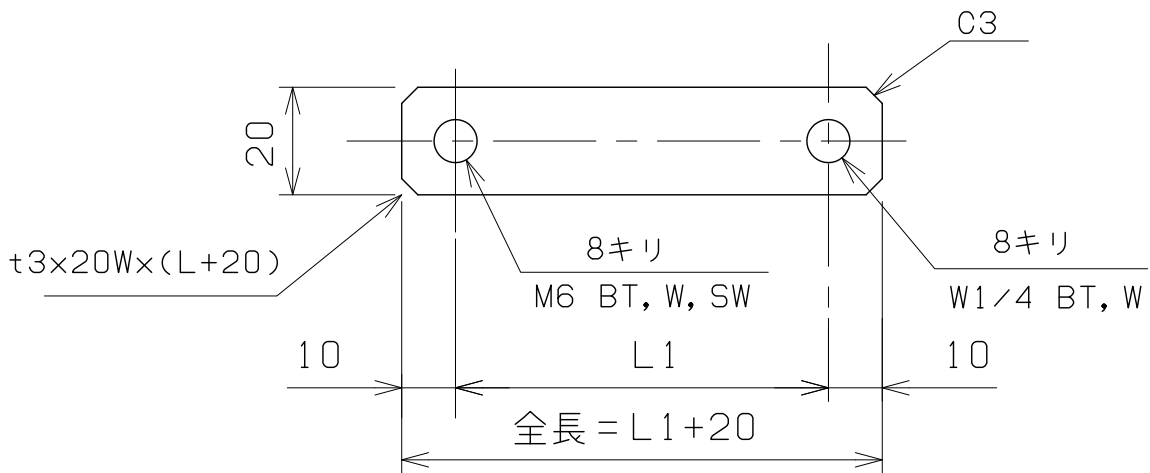
137.6×101.9×134.7





ドットサイト取付用上板

角は面取りの事



ドットサイト取付用底板 1

角は面取りの事

ドットサイト取付部品寸法表

デジタルカメラ	底板穴寸法 L	底板 全長	上板高さ寸法 H	ボルト長さ	
DMC-FZ1000	90	±3×20W×105L	40	M6×50Lボルト M6×30L高ナット	底板は斜め取付
DSC-RX10M4	74	±3×20W×94L	43	M6×55Lボルト M6×40L高ナット	底板は斜め取付
DMC-FZH1	72	±3×20W×92L	40	M6×50Lボルト M6×30L高ナット	底板はボディに平行に取付
Canon 7Dmk2	59	±3×20W×79L	48	M6×60Lボルト M6×40L高ナット	底板は斜め取付
Canon EOS 80D	58	±3×20W×78L	48	M6×60Lボルト M6×40L高ナット	底板は斜め取付
Canon EOS 8000D	94	±3×20W×114L	43	M6×55Lボルト M6×40L高ナット	底板はボディに平行に取付
Canon SX60 HS	88	±3×20W×108L	43	M6×55Lボルト M6×40L高ナット	底板はボディに平行に取付
Nikon D7500	54	±3×20W×74L	48	M6×60Lボルト M6×40L高ナット	底板は斜め取付
Nikon P900	46	±3×20W×66L	58	M6×70Lボルト M6×50L高ナット	底板はボディに平行に取付

*上板の取付ボルトは頭を1mm削る（ドットサイトと干渉の為）こと。

*高さの調整は平座金を入れて調整する

*底板とボディ本体との間に隙間があるときは両面テープで接着後三脚穴へボルト締め

*底板が振れる時は底板の厚い物を使用

ドットサイト本体

amazonで約1800円



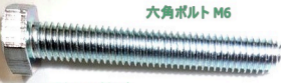
緑色と赤色を選択可能
明るさは5段階

取付板、両面テープ

取付板は寸法表参考に
ホームセンター等で購入



六角ボルト M6



頭を1mm削る事
(ドットサイトへ干渉する)

高(長)ナット M6



ナット M6



平座金 M6



ばね M6



望遠鏡(各種)

シューアダプター
取付後

シューアダプター
取付後

シューアダプター



角度調整自在 Sony
VCT-CSM1 C SYH





フロントテレコンバーター
(各種)



カメラへの接続リング各種

